

【福島市】

会 議 名	平成31年2月28日定例記者会見
日 時	平成31年2月28日（木） 午前10時～10時33分
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p>開会 それではただいまから定例記者会見を始めます。本日は市からの発表事項が3件となっております。それでは市長、お願いします。</p>
市長	<p>市からの発表事項 （1）来年度も再チャレンジ!! ペーパーレス大作戦 ～平成30年度（集中取組強化期間6～12月）実施結果～ おはようございます。それでは、私からは今日は3件発表させていただきます。と思います。</p> <p>まずこちら（大型ディスプレイ）でご説明をしたいと思います。本年の6月からペーパーレス大作戦というものを実施してまいりました。この取り組みの結果を皆様方にご報告するとともに、その結果お知らせしますが、来年度も再チャレンジをするということをお話し申し上げたいと思います。</p> <p>ペーパーレス大作戦は、目標値が前年度比で10%削減するというものです。その結果として、効果は7カ月で450万円のコスト削減をということです。本市は昨年4月に中核市に移行しましたので、大幅に業務が拡大しております。その点では、市全体でいえば紙の使用量も全体的に多くなるというところではあったんですけれども、そういったものを入れても10%削減をすることです。実質的にはかなり大きな削減目標になっているのではないかと考えております。</p> <p>結果として申し上げますと、紙の使用量は7.3%の削減、ごみの排出量は2.5%の削減ということになりまして、達成率で申し上げますと、紙のほうは71%、ごみの排出量は24%となり、残念ながら目標は達成することができませんでした。しかしながら、結果的に検証といいますか、振り返ってみますと、なんとといってもペーパーレスの取り組みが全庁的に推進されたということは、ある意味本市にとって大きな市政運営の転換になったと考えております。タブレット端末の活用、あるいは裏紙の利用、両面印刷など、かなりの職員が、あるいはそれぞれの組織でペーパーレスの取り組みが進められてきました。実際にど</p>

【福島市】

のような形でタブレット端末を活用しているかということをお申し上げますと、まず内部の打ち合わせは、80%はタブレット、それから庁内の会議も53%、外部との打ち合わせでも13%ということで、かなりタブレット端末を活用したペーパーレス会議が拡大しているという状況です。その成果の一つとして、紙・ごみの増加傾向から減少があります。このグラフを見ていただければお分かりの通り、近年特に紙の使用量が増加傾向にあったわけですが、30年はさらに中核市ですから、またグッと伸びてもおかしくなかったんですけども、10%の削減目標を作って減少したということで、それなりに量が減って環境負荷の軽減につながっているということです。それを金額で換算いたしますと、7カ月で300万円のコスト削減となります。紙の面でいうと297万円、ごみの面でいうと6万円の削減というのが内訳になります。さらにペーパーレスをきっかけに、業務が効率化してまいりました。先ほども申し上げましたが、ペーパーレス会議ということで内部会議や外部会議を含めた会議で職員はタブレットを活用してきました。そして庁内広報も、これは今までも紙ベースで配っていたわけですが、基本的に全員に配っていたんですね。こういったものも庁内ネットワークを生かして、電子化したということで大幅に減らすことができた。さらに、規定というか我々の取り扱いを変えまして、出先機関から職員がタブレットを本庁に持ち込むということも可能にしましたので、それで出先機関との間でもペーパーレス会議ができるようになりました。こういったことで今回、様々な面で減って、業務改善にもつながっているということです。

こういったことから、来年度再チャレンジをするわけでありませう。再チャレンジペーパーレス大作戦と銘打ってまたやっていくわけですが、今申し上げました通り、職員の中での意識はかなり芽生えてきました。しかし、まだ十分定着していない面があって、これを徹底させようということです。ごみの排出とペーパーレスは必ずしも実はリンクしていなかったんです。その点で我々も目標の設定がどうだったかというのがあったので、次のペーパーレス大作戦は紙の使用量に特化をして、今年果たせなかった目標である29年度比10%の削減というものを達成したいということで1年間やってまいりたいと思います。全体でいいますと、紙の枚数で言うと380万枚削減をするということで、1人1日7枚のペーパーレスを励行すれば実現できるというものであります。これをコスト面で換算いたしますと、1年間で720万円のコスト削減になるという目論見であります。

ごみに関してはこれまでも何度か申し上げておりますが、ごみ減量大作戦というものを、これは市役所だけではなくて、全市的に

【福島市】

推進していきたいと思っておりますので、その中で市役所としても率先して進めてまいりたいと思っております。1点目は以上です。

(2) 企業立地によって、産業活力を生み出します！

～福島おおぞらインター工業団地第2期予約販売開始のお知らせ～

それから2点目になりますが、こちらは福島おおぞらインター工業団地の第2期の予約販売の開始につきましてお知らせをするというものであります。

第1期の販売にで、ここにいうB区画、この部分に、すでに菊池製作所が内定していますが、今回はこちらのA区画、さらにもう1つこのC区画を前倒しで販売開始をするというものであります。もう少し後を予定していたのですが、実は今年の2月18日から国の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」というものが、募集がまた始まりました。

我々実は去年、去年の段階で終わっちゃうのかなと思って、それで前倒しで販売を開始したんですが、またこれが行われましたので、当初の販売予定時期を前倒しして、国のこの補助金に間に合うような形で販売しようということで今回2区画の販売の開始をいたします。A、C共に面積は1万3千余りの面積で、分譲単価はご覧の通りであります。最終的には造成工事完了後の測量成果によって確定させるというものです。申し込みの受付期間は3月1日から7月31日までで、今回は5カ月とたっぷり取っております。前回は1カ月半、2カ月足らずということで、国の補助金の活用を考えまして短くしたのですが、やはり企業さんが工場の立地を意思決定するとなるとそれなりに時間を要することなので、今回は5カ月ということでたっぷり時間を取りたいと考えております。そして立地計画の審査を、申し込みの締め切りから8月上旬まで行いまして、そして8月中旬くらいには内定をしたいと考えております。

引き渡しの時期は、工事の進捗に応じてA区画は2019年、本年の10月上旬、それからC区画のほうは2020年の1月上旬ということをご予定しております。

とにかく大笹生の工業団地というのは、高速道路に直結、しかもループの中にまであるという、こういった団地はそうありませんので、大変アクセスがよいと。しかもこの大笹生というのは、ただ高速道路に近いだけではなくて、この東北道と中央道のジャンクションに近いですから、いろんな方面に行きやすいという面があります。

それから、こちらに1年オープン時期を先延ばしにする形になり

ましたけれども道の駅もあるということで、その点では非常に、単なる工業の生産拠点というだけではなくて、企業の方々にも息抜きとか、いろんな楽しみのできる工業団地ではないかと思えます。なお、ちなみに実はここのA区画、前回でも販売をすでにしておりました。1社申し込みがありまして、私どもとしてもそちらの会社とこれまで交渉を進めてまいったわけですが、申し込まれた会社が経営上の判断で最終的にはこちらを辞退するということになりましたので、今回改めて販売をさせていただくということでございます。2点目は以上です。

**（3）スマート自治体の実現を目指して
～RPAとAIスピーカーの実証実験を実施します～**

それから3点目になりますが、こちらはITなんですけれども、ちょっと紙ベースで説明しますが、スマート自治体の実現を目指して、RPAとAIスピーカーの実証実験を実施するというものです。

なかなか私も説明して皆さんに十分説明できるか怪しい面があるのですが、今回民間の2社と覚書を締結いたしまして、平成31年、今年の2月末から5月末にかけて、庁内の事務処理でのRPA、これはロボテック・プロセス・オートメーションの略称ですが、その活用と、AIスピーカーによる施設案内システムの実証実験を行うというものであります。

実証実験では、導入による効果や課題などをそれぞれ検証して、今後の本格実施に向けての検討をするということにしております。まず庁内事務処理へのRPAの活用であります。概要にもありますように、本庁業務の中から数件の業務を選定いたしまして、そしてこのRPAを導入・運用して業務の削減効果や、導入に向けた課題などを整理するものでありまして、広報紙の作成事務、あるいは障がい者の福祉事務で実施をする予定であります。覚書締結先といいますか、提携先はNTT東日本福島支店で、既に2月25日から開始をして、5月31日まで実施をするというものです。

それからAIスピーカーによる施設案内ということで、AIスピーカーの問い合わせ応答機能を活用しまして、来訪者が手続きや目的を問い合わせると担当課名を音声で回答します。そしてさらに回答するだけではなくて、タブレットにフロアマップを表示して、「ここですよ」というような形でお示しをします。こういうことで回答精度や有効性等を、こういうことをサービスしていくが実際にうまくいくかどうかということ、検証するというものであります。相手先は、福島情報処理センターで、実施期間は3月1日から5月末日までです。本庁舎の1階正面玄関付近で実施

【福島市】

	<p>をいたします。</p> <p>AIスピーカーによる施設案内というのは、私はあんまり聞いたことないと思っていたところ、事務方にも聞いたところあまりやってないのではと。そこはどのような状況かよくわかりませんが。ただこちらの提携している会社では、県内の他の自治体でもやってはどうかという提案はしているということなので、もしかするとそのうちまたやるのか、もう既に発表しているのか、やり始めているかわかりませんが、いないのかも知れませんが、なかなか無い実験かと思っております。新年度の投資予算でも情報化関係かなり盛り込みましたけれども、やはりこういった情報化の流れをしっかりと我々としてもつかんで活用して、そしてより市民のサービス向上、それから業務の効率化、そういったものにつなげていきたいと思っています。</p> <p>私からは以上です。</p>
広報課長	<p>質疑応答</p> <p>それでは、ただいまの発表事項に対して質疑応答に移ります。ご質問ございましたら挙手指名ののち、社名とお名前をおっしゃっていただき、ご発言をお願いします。なお、ご発言の際は恐れ入りますがお席の前のマイクのスイッチのオンとオフの操作をお願い致します。それではご質問ございましたら挙手をお願いいたします。</p>
河北	<p>河北新報の関川と申します。ペーパーレスの件で伺いたいのですが、まず紙の使用量が7.3%減少ということなのですが、これは全体の数字だと思うのですが、部署ごととかそういう数字はあるのですか。</p>
市長	<p>あります。</p>
河北	<p>優秀だったところはどこでしょうか。</p>
市長	<p>なかなかわかりづらいのは、例えば政策調整部なんていうのは新しく作ったんです。母体が前は小さかったので、今の比較で言うとなかなか比較しづらいですね。それから、さっきも申し上げましたように、中核市の関係で、健康福祉部は保健所ができています。その分はもろにプラスなのでなかなか出てこないという面があるのですが、ただせっかくですから、申し上げますと、やはり環境部は熱心にやりまして一番で、33.1%、6月から12月までで減少させています。実は4月からの通年でも37%ですから、大作戦する前から取り組んでいてかなりやってくれたと</p>

【福島市】

	<p>思っています。それから市民安全部がやはり3割を超えて31.2%、それから建設部が25.9%。いずれも6月からのこの期間の推移ですけど、こういった形で頑張ってもらっています。中には組織とかが変わらないでも増えているところがあるので、そこはやはり中核市の影響も実際はあります。</p>
河北	<p>その増えているところは、別にさぼっていたと言いたいわけではなくて、例えば業務量とかの関係で単純比較ができないということができないということだと思うのですが、ちなみに増えていたのはどういうところでしょうか。</p>
市長	<p>極めて多く増えているのは政策調整部です。これは前が非常に小さな母体をベースにした新しい部署を持って来ているので、まず比較のベース自体が違います。ちなみにこちらは、200%以上増えていますから3倍以上になっているということです。227.8%です。</p>
河北	<p>227.8%の増ということ。</p>
市長	<p>単純に増でいうとそういうことです。</p>
河北	<p>新設された部署で前年度の比較がなかなか難しいということ。</p>
市長	<p>そうですね。あとはやはり同じ部署であまり変わっていないけど増えたなというと、あまり僕の口から言うのもあれですけど、大きいところだと商工観光部が19.3%、まあこちらも絆まつりとかいろんなまちづくりの関係とかありましたからそれなりに業務はあったんでしょうけど、結果としてはこのようになっていると。健康福祉部が意外と頑張ってくれて、4月から5月まではかなりやはり保健所業務で増えていたんですよ。でもその後、そうも言っていられないと頑張ったのか6月からはかなり減りました。6月から12月でいうと4.6%ですから、実質的にはかなり増加業務を除けばマイナスになっているのではないかと思います。</p>
河北	<p>4.6%は減ですか、増ですか。</p>
市長	<p>増です。</p>
河北	<p>業務量が増えた割には踏みとどまったというか・・・。</p>

【福島市】

市長	という評価をしてよろしいのではないのでしょうか。
河北	ありがとうございます。再チャレンジをするということでしたが、どこに焦点を絞るのかということで、資料の2ページの所で、内部の情報の8割はタブレット端末を使ったという数字がありますけれども、外部との打ち合わせ13%、そういうところが狙い目かと思うのですがこれについてはどうお考えですか。
市長	外部との打ち合わせで我々がまず持つということはいいいのですが、問題は、例えば今日みたいな時に紙で配らなければいけないですよね。そういったものはどうしても増えてしまいます。今後どうしていくのかというのはあるのですが、私が今回の取り組みで非常に感心しているのは、ペーパーレス大作戦の、職員向けのお知らせみたいなものを作っていました、いろいろな取り組みを紹介していました。その点ではいろいろな工夫が各部局やられていて、それを共有化していたので、それがまたどんどん加速度的に広がってほかの部署の取り組みを促していたという面があります。やはりそういうことを通じて、さらなる削減となりうると思います。現実には私の所にも、市長協議をするときもペーパーレスでしか来ないところと、紙で持って来るところと両方あります。なかなか紙でないとできないものの中にはあるのですが、別にそうでなくてもまだ紙で持っている部署があるので、その点ではまだ意識改革の余地がかなりあるだろうと私は思っています。
河北	最後1点です。そもそもペーパーレスというものは紙の量を減らすということが一義的な目標ではあるのですが、その先には業務改善というものがあると思うのですが、この7か月間の取り組みで、数字上は7.3%で目標を達成できなかったかもしれないですけど、業務改善のところで貢献と資料にもありますが、具体的に、例えばペーパーレスにすることで、すぐに思いつくのはいつでも資料が見られる、検索しやすくなるというメリットがあると思うのですが、ペーパーレスを進めたことで業務改善の面で成果というのはどのようなものがあるのでしょうか。
市長	はい。ペーパーレスをして、やるとなると今度は共有することが大事になってきます。その共有のときに、ではどういう整理をすれば見やすくなるか、ネットの中で。ネットというかサーバーの中でといたしますか、そういう面での工夫も出てきますし、それから私が評価をしているのは、別途市の中で「かえるチャレンジ」という、身近なところの業務を見直して変えていこうという、一

【福島市】

	<p>人意思改善運動と正式には言っていますが、そういったことを進めています。ある意味ペーパーレス大作戦は、そういった業務改善運動の1番のけん引役をやってくれたらと私は思っております。その点では「なんだ、こういうもの書いていいんだ」というものを職員に知らしめたという点では非常に大きな成果というか、効果があったと考えています。</p>
河北	<p>意識改革の面で。</p>
市長	<p>はい。それがまずなんといっても第一だと思います。</p>
河北	<p>実際にタブレットによる会議だとか、そういうことによるメリットというものは何かありますか。タブレットというかペーパーレスによるメリットですが。</p>
市長	<p>タブレットは、やはり紙をいちいち保存しなくてもいいということや、そういう面での楽さがあります。一方でただタブレットにすると全体が見えにくいとか、書き込みができないというデメリットはあるにはあります。これをどうやって克服していくのか。例えば皆さんもそうなんですね。例えば我々がここで、今持っておられるじゃないですか、パソコンに。これから全部送りますと、PDFで。そのときしかし皆さん、記者の皆さんはいっぱい書き込みをするじゃないですか。そうすると、別のメモ帳で書くぐらいしかないわけです。そうするとたぶん、後で整理しづらい面があるのではないかと思います。そうでなければ、これからお送りして、それでやってもらうんですけど。あと、今議会も検討しています。議会がというよりは、議会に出す資料に我々が使っていると言っていいですかね。これがまたペーパーレスとかになるとまた大きく変わると思います。ちなみに去年は、議会関係は増えていましたね。</p>
河北	<p>議会関係の数字、最後に教えてください。</p>
市長	<p>議会事務局は、8.4%増えています。</p>
福島放送	<p>福島放送なのですが、改めてペーパーレスの結果を受けて、受け止めという意味では、市長としては今回の結果はどう受け止めていらっしゃいますか。</p>
市長	<p>はい。目標を達成できなかったという面では残念なのですが、やはり市の業務改革といいますか、サービスの向上あるいは効率性</p>

【福島市】

広報課長	<p>の向上といった面では、大きな取り組みの引き金になったし、それをけん引してくれる役割になったかと思っております。まあ、そういう効果だけではなく、来年度はぜひ再チャレンジをして、目標を達成したいと思います。</p>
広報課長	<p>その他ございましたらお願いします。 発表事項につきましてはご質問の方よろしいでしょうか。 それでは最後にその他について皆様のほうからご質問があればお願いいたします。</p> <p>閉会 その他ございませんので、それでは以上を持ちまして本日の定例記者会見を終了いたします。お疲れ様でした。</p>